

## 〔事業者の理念・方針、期待する職員像：小規模保育事業〕

1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	<p>1)1人ひとりのおもいやりを大切にし、個性を認めながら、心身の豊かな発達を家庭と一緒に育んでいきます。</p> <p>2)こどもの生活が保障され、豊かに展開できるように、安全安心な環境を整えます。</p> <p>3)身近な大人から愛されていることを実感し、自己肯定感を高め、信頼する気持ちと相手を大切にする気持ちを育てます。</p> <p>4)様々な体験を通して、思考力や創造性の芽生えを培い、意欲的にあそび、最後までやり遂げる力を育てます。</p> <p>5)保護者の思いに寄り添い子育てが楽しめるように一緒に考えていきます。</p>
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	（1）職員に求めている人材像や役割
	向上心をもって保育にあたる事。職員間でのコミュニケーションを密にチームワークがとれる事。
	（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）
	子どもや保護者に誠実な対応を行い、保育士と言う職種に誇りをもって仕事をして欲しい。そのためには自分になにが必要なのを忘れずに日々考えて行って欲しい。

〔利用者調査：小規模保育事業〕

調査対象	当保育園を利用している保護者全数	
調査方法	アンケート方式で実施した	
	利用者総数	18
	利用者家族総数（世帯）	17
	共通評価項目による調査対象者数	17
	共通評価項目による調査の有効回答者数	12
	利用者総数に対する回答者割合（％）	71

利用者調査全体のコメント

全17問のうち、問1「保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか」問2「保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか」問3「提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか」など5つの問について、回答者全員が「はい」と答えている。また、総合的な満足度も100%が「大変満足」「満足」と回答しており、全体的に満足度が高い保育所であるといえる。

利用者調査結果

コメント欄を必ず入力してください

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	12	0	0	0
回答者全員が「はい」と回答しており、満足度が高い。「できることが増え、感情の表現も豊かになった。」というコメントも見られた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	12	0	0	0
「はい」が100%であった。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	12	0	0	0
「はい」が100%となっており、食事についても満足していることがうかがえる。				

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえな0い	いいえ	無回答 非該当
4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	11	0	1	0
「はい」が92%、「いいえ」が8%であった。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	8	0	3	1
「はい」が67%、「いいえ」が25%、「無回答・非該当」が8%であった。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	10	0	1	1
「はい」が83%、「いいえ」「無回答・非該当」が各8%であった。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	6	0	2	4
「はい」が50%、「いいえ」が17%、「無回答・非該当」が33%であった。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	10	0	2	0
「はい」が83%、「いいえ」が17%という結果であった。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	9	0	1	2
「はい」が76%、「いいえ」が8%、「無回答・非該当」が16%であった。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	12	0	0	0
「はい」が100%で、職員の態度や服装が適切であることがうかがえる。				

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	12	0	0	0
回答者全員が「はい」と回答しており、適切な対応がされていることがうかがえる。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	7	0	0	5
「はい」が58%、「無回答・非該当」が42%であった。トラブルの経験がないという保護者が「非該当」にしたと思われる。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	12	0	0	0
「はい」が100%であり、満足度が高い。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	8	0	1	3
「はい」が67%、「いいえ」が8%、「無回答・非該当」が25%であった。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	10	0	1	1
「はい」が84%、「いいえ」「無回答・非該当」が各8%であった。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	9	0	2	1
「はい」が75%、「いいえ」が17%、「無回答・非該当」が8%であった。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	6	0	2	4
「はい」が50%、「いいえ」が17%、「無回答・非該当」が33%であった。				

〔組織マネジメント：小規模保育事業〕

I 組織マネジメント項目（カテゴリ－1～5、7）

No	共通評価項目		
1	カテゴリ－1		
	リーダーシップと意思決定		
	サブカテゴリ－1（1－1）		
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ－毎の標準項目実施状況	
	評価項目1 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）を周知している 評点（ ●● ）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	評価項目2 経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事務所をリードしている 評点（ ●● ）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点（ ●●● ）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当
	カテゴリ－1の講評		カテゴリ－1の講評を入力してください
	園の目指している保育は新年度の打ち合わせで読み合わせ、理解を深めてもらっている 保育理念や保育方針等は、「入園のしおり」をもとに新年度の打ち合わせ時に読み合わせ、理解を深めてもらっている。園の目指している保育は、全体的な計画から各担任が年齢別の年間指導計画に展開し、そして毎月の指導計画に基づいて保育を行い、月末には各担任が振り返り・反省し次月につなげている。保育理念・保育方針・保育目標は玄関に掲示し、新入園児の保護者には個別面談で園のしおりをもとに保育を説明している。保育実践は毎月のクラスだよりに写真を載せて伝えている。		

	<p><b>園長は自らの役割と責任を果たし、園運営に取り組んでいる</b></p> <p>職員の役割分担が明確になっており、園長の職務も明文化されている。日々においては月2回の職員会議や随時の給食会議、そして主任との打ち合わせなどをおこなっている。職員とは距離が近く何でも話せる環境となっており、子ども中心の保育を基本に据え、子どもに寄り添うことや、やりたいことを大切にすることを伝えている。職員との個人面談も定期的を実施し、助言したり相談に乗っている。園長は保育の方向性を示すとともに、自らの役割と責任を果たし園運営に取り組んでいる。</p> <p><b>園の運営に関する案件は園長及び主任で打ち合わせ、結果を職員に伝えている</b></p> <p>園の運営に関する案件は園長及び主任で打ち合わせをし、確認事項等を職員に伝えている。クラス運営に関しては、随時クラスや全体で話をしている。行事などは役割分担ができており、各担当が企画して職員の意見を聞いている。また、行事の変更や動画配信など、保護者に周知が必要な事は手紙や玄関の掲示で知らせている。</p>		
2	カテゴリー 2		
	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
	サブカテゴリー 1 (2-1)		
	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
	<p>評価項目 1</p> <p>事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している <span style="float: right;">評点 (●●●●●● )</span></p>		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
	●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
	●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
	●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
	●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
	サブカテゴリー 2 (2-2)		
	実践的な計画策定に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
	<p>評価項目 1</p> <p>事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している <span style="float: right;">評点 (○○○ )</span></p>		
	評価	標準項目	
	○あり ●なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
	○あり ●なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
	○あり ●なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
	評価項目 2		

着実な計画の実行に取り組んでいる		評点 (●●)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた、計画の推進方法（体制、職員の役割や活動内容など）、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し（半期・月単位など）、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
カテゴリー 2 の講評		カテゴリー 2 の講評を入力してください
<b>園を取り巻く環境や現状を踏まえ、課題を見出している</b> 保護者の意向は運動会や夏祭りなどの行事後にアンケートを取り、把握に努めている。昨年度は実施できていたが、今年度は保護者の参加を取り止めたため、アンケートは実施していない。職員意見は職員会議や個人面談、クラスで聞いている。区のホームページや行政からのメールで、コロナ対策等の情報を収集している。園の経営状況は本部の園長会議等で報告がある。園を取り巻く環境や現状を踏まえると課題は人員不足であり、本部と連携して対策を講じている。		
<b>指導計画は、PDCAサイクルを廻し保育に取り組んでいる</b> 年間保育計画を4期に分けて作成し、期ごとに評価している。また、年間保育計画に基づいて月間指導計画を作成し、さらに週案に展開している。月間指導計画や週案は月末および週ごとに振り返り、次月や次週につなげている。指導計画に関しては、計画・実践・評価・改善のサイクルを廻して保育に取り組んでいる。事業計画についても、推進する体制と仕組みを作り、取り組むことが期待される。		
3	カテゴリー 3	
経営における社会的責任		
サブカテゴリー 1 (3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
評価項目 1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる <span style="float: right;">評点 (●●)</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当
サブカテゴリー 2 (3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
評価項目 1 利用者の意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている <span style="float: right;">評点 (●●)</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者 に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向（意見・要望・苦情）に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当

し		
<b>評価項目 2</b> 虐待に対し組織的な防振対策と対応している <span style="float: right;">評点 (●●)</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリー 3 (3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
<b>評価項目 1</b> 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる <span style="float: right;">評点 (●●)</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当
<b>評価項目 2</b> 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている <span style="float: right;">評点 (●○○)</span>		
評価	標準項目	
○あり ●なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク（事業者連絡会、施設長会など）に参画している	○非該当
○あり ●なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当
カテゴリー 3 の講評		カテゴリー 3 の講評を入力してください
<b>園職員として、子ども一人ひとりを大切にされた保育に心がけている</b> 就業規則には服務規律についても触れており、入職時には確認してもらっている。個人情報の保護や守秘義務に関しても、職員とは誓約書を取り交わしている。子どもに対しては一人の人間としての尊厳を大切に話すことを職員に伝えている。「保育・教育の質ガイドライン」も整備し、職員には目を通してもらっている。不適切は関わりと思われる場合は、その場で注意したり個人面談で伝えている。また、年2回保育の自己評価をおこなっており、日常の言動を振り返る機会がある。家庭での不適切な保育は外部の機関と連携し対応する体制を整えている。		
<b>登降園時に保護者の意向を聞いたり相談に乗っている</b> 苦情解決の体制があり玄関に掲示するとともに、解決責任者や受付担当者及び第三者委員の氏名を入園のしおりの明示し、入園時に保護者に伝えている。受け付けた場合は受付担当者の主任から園長に報告が入るため、解決責任者である園長が内容を確認して解決を図る仕組みとなっている。保護者の日々の意向は登降園時や連絡帳で職員が聞き取り、対応している。内容により主任・園長が相談に乗っており、保育時間を伸ばすことや迎えの時間などは柔軟に対応している。		
<b>地域との交流や子育て世帯への支援を期待したい</b> 情報開示に努めており、見学者にはパンフレットや園のしおりを渡している。実習生も受け入れる予定があったが、コロナ禍で休止としている。地域との交流もコロナ禍で制限があり、散歩の際に公園にいる親子への声掛けなどとどまっている。また、地域貢献にも取り組みたいとしており、一時保育の受け入れや青空		

	保育などの構想がある。制約はあると思うが、工夫しながら地域の子育て世帯への支援も望まれる。	
4	カテゴリー 4	
	リスクマネジメント	
	サブカテゴリー 1 (4-1)	
	リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる	
	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
	評価項目 1	
	事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる	
	評点 (●●●○○)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク（事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など）を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている
	○非該当	
	●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている
	○非該当	
	○あり ●なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画（BCP）を策定している
○非該当		
○あり ●なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	
○非該当		
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	
○非該当		
サブカテゴリー 2 (4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		
サブカテゴリー毎の標準項目実施状況		
評価項目 1		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		
評点 (●●●● )		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員（実習生やボランティアを含む）が理解し遵守するための取り組みを行っている	
○非該当		
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	
○非該当		
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	
○非該当		
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	
○非該当		
カテゴリー4の講評		
カテゴリー4の講評を入力してください		
<b>子どもの安全確保を第一に考え、必要な対策を講じている</b> 子どもの安全確保を優先順位の高いリスクとし、受け入れた状態で保護者に引き渡すことを第一に考えている。保育室では危険な箇所をエアークャップで覆ったり、散歩ではガードレールのある歩道や信号機のある横断歩道を渡っている。また、区からの他園の事故情報なども自園に置き換え、話し合っている。危機管理マニュアルも整備されており、感染症については更新されるたびに職員に周知・徹底を図っている。現在、子どもの受け渡しは玄関とし、検温は一日3回おこなっている。また、給食時のテーブルは仕切りを設けるなど感染予防に努めている。		

	<p><b>保育現場のヒヤリハットを収集し、職員間での共有を期待したい</b></p> <p>事故が起きた場合は発生状況や発生後の対応、改善策などを記録し職員間で共有している。ヒヤリハットは発生状況や改善策を記録しているが、件数が少なくケガの報告が主となっている。また、職員の確認サイン欄も設けられていない。事故・ケガ・ヒヤリハットの区別を明確にして記録するとともに、職員間の共有も期待したい。重大事故を防ぐため、ヒヤリハットを収集する工夫が望まれる。</p> <p><b>個人情報の管理に努め、漏洩防止に取り組んでいる</b></p> <p>文書管理規定が整備され、保存等の年限を明確にしている。職員は入職時に個人情報保護の誓約書を提出し、保護者には入園時に個人情報の取り扱いについて説明し、写真をSNSなどへ掲載することは同意書をもらっている。児童票などの重要書類は鍵のかかる書庫に保管し、パソコンやタブレットはパスワードで管理している。また、記憶媒体はリスクがあり使用禁止とするなど、個人情報の管理を徹底している。</p>	
5	カテゴリー 5	
職員と組織の能力向上		
サブカテゴリー 1 (5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する 人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
評価項目 1		
事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点 (●● )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目 2		
事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点 (○○ )
評価	標準項目	
○あり ●なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
○あり ●なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当
評価項目 3		
事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点 (●●●● )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成（研修）計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成（研修）計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
評価項目 4		
職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点 (●●●○ )
評価	標準項目	
○あり ●なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇（賃金・昇進・昇格等）・称賛などを連動させている	○非該当

●あり ○なし	2. 就業状況（勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど）を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当
サブカテゴリー 2（5-2）		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
<b>評価項目 1</b> 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる <span style="float: right;">評点（●●●）</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当
カテゴリー 5 の講評 <span style="float: right;">カテゴリー 5 の講評を入力してください</span>		
<p><b>目標管理の仕組みがあり、職員は自らの保育を自己評価している</b></p> <p>目標管理の仕組みがあり、職員は半期ごと自らの保育を振り返り自己評価をしている。また、半期ごとに目標を設定してもらい、園長が年 2 回の個人面談で取り組みを確認したり助言をしている。課題は後半の目標とし取り組んでもらうことになっている。職員自己評価でも、「個別評価が細かくなり、振り返りができる。」「自己評価で進むべき方向を明確に考える機会が持てた。」などの声が上がっている。よい制度変更と思われる。</p> <p><b>キャリアアップ研修や本部研修に職員を派遣し、力量向上を支援している</b></p> <p>キャリアアップ研修や本部の研修に職員を派遣し、知識やスキルの向上を支援している。園内研修も職隨時おこなっており、直近では嘔吐処理の研修をしている。研修の実施記録は一覧表にまとめ見やすくしている。また、外部研修の受講後は報告書を書いてもらい、伝達研修や閲覧で共有を図っている。研修報告書は、研修のポイントや研修を活かして課題を解消すること、明日から行う行動などを記録する欄があり、受講者がきめ細かくまとめている事が確認できた。</p> <p><b>職員の働きやすい環境整備に努めている</b></p> <p>職員の有給休暇の消化状況や時間外勤務の状況は園長が把握しており、有給休暇は取得を促進している。職員にはさまざまな研修の機会を提供しており、特にキャリアアップ研修の受講を勧め、処遇改善にも努めている。会社の福利厚生としてインフルエンザワクチンの予防接種の補助や健康相談を受け付ける部署がある。職員自己評価でも、「人間関係がよい」「働きやすい環境」「休暇を取りやすい」などのコメントが見られた。</p>		
7	カテゴリー 7	
事業所の重要課題に対する組織的な活動		
サブカテゴリー 1（7-1）		
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている		
<b>評価項目 1</b> 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その 1）		

前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）	
前年度の重要課題として「行事の内容の検討及び柔軟な見直し」を設定した。設定した理由として、これまで運動会は外部のレクリエーションホールを借り、保護者も参加して実施したが、場所の問題などもあり母親から離れず参加できない子どもがいた事やコロナ感染者が増えていた事もあり、子どもたちだけで平日に園内で運動会を実施した。保護者には事情を説明して理解を得た。運動会は「運動会ごっこ」として年齢別に実施したが、子どもたちも、いつもの場所で運動したことでストレスは感じられなかった。次年度も園での運動会とすることを検討している。	
目標の設定と 取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む） <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目 1 で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
重要課題として「行事の内容の検討及び柔軟な見直し」を設定した。設定した課題は子どもが楽しく行事に参加してもらうことを念頭に置いており、課題設定としては適切と思われる。夏祭りや運動会などの行事を子どもたちだけで行うことも保護者に伝え理解してもらっている。職員は子どもが興味や関心を持てるよう柔軟に内容を見直している。とくに「運動会ごっこ」は会場を外から園に変更したが、子どもたちは思い切り楽しむことができていた。活動を検証し次回も園での運動会を検討している。これからも柔軟に行事に取り組むことを期待したい。	
評価項目 2	
事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その2）	
前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）	
前年度の重要課題として「玩具の環境設定」を掲げた。これまではキッチンが後ろ向きに設置してあり遊べない状況であったり、他の玩具も引き出しや袋に入れてあり子どもが自由に取り出せなかった。職員と共通理解を図り、玩具の環境設定に取り組み、キッチンは前向きにして遊べるようにし、人形なども見やすく置くようにした。年度初めには担任と玩具の配置などを話し合い、ダンボールで作った玩具入れを準備した。また、柔らかい素材の入れ物を購入して玩具入れにしたり、玩具を1、2歳児で分けて使えるようにした。	
目標の設定と 取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む） <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

前年度の重要課題として「玩具の環境設定」を掲げた。職員と共通理解を図り、玩具の環境設定に取り組み、子どもたちが自由に玩具を取り出し遊べる環境にした。その結果、取り合いなども減り、保育士が子どもたちの好みも理解し進めることで、遊びを発展させている。また、好きな玩具でじっくり遊ぶ事もでき、自発性が発揮できている。活動を検証し、引き続き次年度も玩具の環境設定に取り組みたいとしており、さらに遊びの幅を広げることが期待される。

〔サービス分析：小規模保育事業〕

II サービス提供のプロセス項目（カテゴリ－6-1～3、6-5～6）

No	共通評価項目	
1	サブカテゴリ－1	
	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況
	評価項目 1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している 評点 (●●●●)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している <span style="float: right;">○非該当</span>
	サブカテゴリ－1 の講評 <span style="float: right;">サブカテゴリ－1 の講評を入力してください</span>	
	<p><b>パンフレットやホームページ、SNS等で利用希望者に園情報を提供している</b></p> <p>利用希望者にはパンフレットやホームページなどで園の情報を提供している。SNSでも情報を発信しており、ホームページに載せている。区のホームページや東京福祉ナビゲーションのサイトからも、園の情報を閲覧することができる。また、玄関には園だよりを掲示しており、見学者は見る事ができる。パンフレットは三つ折りで園の外観や保育理念、年間行事、一日の流れなどを記載し、ホームページには園の概要や園からのお知らせ、アクセスマップ、間取り図などを載せている。SNSは写真を多く用いて活動の様子を分かりやすく紹介している。</p> <p><b>行政等に園の情報を伝えたり公立園と情報交換をしている</b></p> <p>園の情報は行政にも伝えており、在園児数や職員数などを毎月報告している。連携している公立保育園とは園だよりなどを交換したり、メールで保育に関して意見交換している。園長は毎月法人内の園長会議に参加し、自園の状況を伝えたり各地域の保育に関する情報を収集している。外国籍の利用希望者もあり、内容を理解してもらうため通訳を活用したりした。また、提供する情報の漢字にはルビを振ったり、平仮名やカタカナにしたり、スマートフォンの翻訳アプリを活用するなど、外国籍の保護者への説明にさまざまな工夫をしている。</p> <p><b>利用希望者の見学は個別の状況に応じて柔軟に対応し、相談にも乗っている</b></p> <p>利用希望者からの問い合わせや見学はいつでも受け付けているが、コロナ禍のため見学は1名までとし、園長が対応して玄関でおこなっている。見学時にはパンフレットを渡し、一日の流れやカリキュラム、保育時間などを説明している。また、タブレットで撮影した室内の様子を見てもらっている。入園時に準備するものなどは入園のしおりを用いて説明している。外国籍の見学者には、宗教食などについても丁寧に聞き取り、相談にも乗っている。見学は個別の状況に応じ、曜日などは柔軟に対応している。</p>	

2	サブカテゴリー 2		
サービスの開始・終了時の対応		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	
評価項目 1			
サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている			評点 (●●● )
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当	
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当	
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当	
評価項目 2			
サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている ( )			評点
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当	
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当	
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当	
サブカテゴリー 2 の講評		サブカテゴリー 2 の講評を入力してください	
<p><b>入園後の個人面談では、入園のしおりをもとに重要事項を説明している</b></p> <p>入園が決定した保護者には、面談前に家庭調査表や健康の記録など必要な書類を保護者に送付し記入を依頼している。個人面談では入園のしおりをもとに保育時間・土曜保育や利用料、持ち物などの重要事項を説明している。個人情報取り扱いについても説明し、個人情報の利用目的や第三者への提供、子どもの肖像の使用に係る承諾及び個人情報使用同意書ももらっている。コロナ禍のため保護者への十分な説明時間が取れないことを課題としており、工夫を期待したい。</p> <p><b>入園前の事前面談で保護者のニーズ等を確認し、記録している</b></p> <p>入園時の保護者との個別面談では、保護者の仕事の内容や勤務時間、土曜保育の有無などを聞き取り、面接表に記録をしている。入園時の情報は児童票などにも記入し、その後は成長の記録としている。園の特徴として「手ぶら登降園」（口拭きタオルやエプロン、登降園の際の衣服を園で用意するもの）のシステムもあり、希望者には利用してもらっている。</p> <p><b>慣らし保育で子どもと親の不安を軽減できるよう配慮している</b></p> <p>入園直後は子どもの負担を軽くし集団生活に無理なく慣れてもらうように、慣らし保育を取り入れている。慣らし保育は1時間から始め、徐々に時間を伸ばし、給食まで午睡までと順に延ばしているが、子どもの発達や保護者の就労状況に合わせて柔軟に対応している。また、入園前の職員会議では子どもの状況を共有し、入園直後はできるだけ抱っこしたり好きな玩具を用意するなど、子どもの不安の軽減に努めている。慣らし保育の間は保護者とのコミュニケーションも密にして、連絡帳や受け渡し時に日中の様子を丁寧に伝え、安心してもらえるようにしている。</p>			
3	サブカテゴリー 3		

個別状況の記録と計画策定		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	
<b>評価項目 1</b> 定められた手順に従ってアセスメント（情報収集、分析および課題設定）を行い、 子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している <span style="float: right;">評点（●●●）</span>			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当	
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当	
<b>評価項目 2</b> 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している <span style="float: right;">評点（●●●●●）</span>			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護（生命の保持・情緒の安定）と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の各領域を考慮して作成している	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況（年齢・発達の状況など）に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当	
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直ししている	○非該当	
<b>評価項目 3</b> 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している <span style="float: right;">評点（●●）</span>			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当	
<b>評価項目 4</b> 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有している <span style="float: right;">評点（●●）</span>			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当	
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当	
サブカテゴリー 3 の講評		サブカテゴリー 3 の講評を入力してください	
<b>全体的な計画をもとに年間保育計画を作成し、月間指導計画に展開している</b> 全体的な計画は園長が作成し、年度末の職員会議で共有を図っている。計画は年齢別の保育目標を明確にし、養護と教育に分けて作成し、食育や健康支援、環境・衛生管理、安全対策・事故防止、研修計画、保育の特色などを盛り込んでいる。全体的な計画に基づいてクラス担任が年間保育計画を4期に分けて作成している。年間保育計画はねらいを明確にしており、月間指導計画は成長や発達を踏まえ具体的に展開している。また、月間指導計画をもとに子ども個別の週案を作成し、週のねらいや保護者支援の目標を明確にして保育に取り組んでいる。			

**指導計画は振り返りをおこない、次期・次月・次週につなげている**

年齢別の年間保育計画は4期に分け、担任が1期ごとに評価をして園長が確認している。月間指導計画は月末に職員会議で振り返りをおこない、次月につなげている。週案は子どもの活動などを週ごとに振り返っている。月のクラスのねらいはクラス便りで保護者に分かりやすく伝え、個別の目標は保護者との個人面談で伝えている。職員自己評価でも、全員が「子どもの実態や状況の変化に則して指導計画を見直している」と答えている。記録からも各指導計画は計画・実践・振り返り・見直しのサイクルを廻していることが確認できた。

**子どもに関するさまざまな記録は職員間で共有を図っている**

日々の子どもの様子は週案日誌に記録し、職員間で共有できている。また、気になる子どもの様子は職員会議で話し合っている。担任はその月の特記事項は児童票に記入して職員会議で共有している。保護者からの情報や保護者に伝えることは、連絡帳や受け入れ簿で確認して職員間で共有している。とくに受け入れ簿では、朝の子どもの様子や迎えの時間など、いつもと違う事を記入している。子どもに関するさまざまな記録を付けており、職員自己評価でも「記録を共有し活用している」とのコメントがあった。

5

サブカテゴリー5

プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

サブカテゴリー毎の  
標準項目実施状況

評価項目1

子どものプライバシー保護を徹底している

評点 (●● )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報（事項）を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当

評価項目2

サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している

評点 (●●● )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当

サブカテゴリー5の講評

サブカテゴリー5の講評を入力してください

**子どものプライバシー保護を徹底した保育に取り組んでいる**

個人情報の保護・管理に努めており、保護者には個人情報の取り扱いについて入園時の個人面談で説明している。病院や児童相談所などの関係機関に情報を提供する場合は同意を得るようにしている。子どものプライバシーの保護にも努め、子どもの写真をホームページや便りに載せる事は文書で同意を得ている。また、おむつ替えは手作りのパーテーションを用いて目隠しをしたり、トイレ使用時はドアを閉めるなどしている。なお、2歳児のトイレは2つの便器と1つの男子用便器があるが仕切りはない。今後、羞恥心への配慮も期待したい。

**子どもの意思を尊重した保育に努めている**

保育にあたっては子どもの意思を尊重し、無理強いをしないようにしている。嫌がる時は何を嫌がるのか何をしたいのか、確認しながら対応するようにしている。また、職員一人ひとりが保育の自己評価をしており、尊厳を無視した発言や否定的な言葉、態度に留意している。評価者の訪問時には、一緒にいた園児が粘土遊びを止めて次の活動に移っても、やりたい子どもには見守りながら遊びを中断させない保育が見られた。

**保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育に努めている**

	<p>外国籍の保護者も多く、さまざまな価値観や生活習慣があることを職員と共有し、配慮した保育に心掛けている。離乳食では家庭と園の違いも見られたため、通訳を介して家庭での食材を止めてもらい、園の対応を理解してもらったこともある。特に外国籍の保護者に対しては傾聴に心がけ、相談事には親身に対応している。育児困難家庭への支援については園長が研修会に参加しており、内容は職員と共有をして体制を整えている。</p>		
6	サブカテゴリー6		
	事業所業務の標準化	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
	<p>評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている 評点 (●●● )</p>		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
	●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当
	<p>評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている 評点 (●● )</p>		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
	●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
	サブカテゴリー6の講評		サブカテゴリー6の講評を入力してください
	<p><b>各種のマニュアル等を活用し、業務の標準化に努めている</b>          各種のマニュアルが作成されており、業務や保育の基本事項や手順を明確にしている。マニュアルは本部で作成しているが、園でも早番や遅番の業務や、平日と週末の掃除の場所などを表にして、分かりやすくしている。また、マニュアル通りの手順になっているかは、主任が現場を確認したり、主任と職員が日々話し合いをしている。マニュアルは職員が見やすいようにして事務室に置いており、分からないことが起きた際は業務点検の手段として活用している。昨年度は基礎疾患を持った子どもの対応方法を確認している。</p> <p><b>マニュアルは職員意見などを反映させて、見直している</b>          業務を確実にこなうため、大切な事はトイレにも掲示しており、嘔吐処理の仕方や殺菌消毒剤の作り方等を貼っている。また、年度替わりや必要に応じて見直しており、見直しにあたり本部には職員や保護者の意見や提案を伝え、反映されるようにしている。なお、マニュアルや手順書は、期間を定め、変更点がなくとも定期的に更新することが望まれる。また、園におけるさまざまな業務は、できるだけ文書化するとよいと思われる。</p>		

III サービスの実施項目（カテゴリー6-4）

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
1	評価項目1 子ども一人ひとりの発達状態に応じた保育を行っている	評点 (●●●●●)	
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当
	●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当
	●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当
	●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル（けんか・かみつぎ等）に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当
		評価項目1の講評	評価項目1の講評を入力してください
<p><b>子どもが玩具を選んで遊びを展開できるよう、保育士が棚を手作りして設置した</b>                      子どもが主体的に玩具を選び、遊びを創意工夫できるよう、玩具などの置き方を見直した。これまでは玩具を引き出しにしまっており、都度、保育士が選んで子どもに提供していた。これを見直し、保育士が段ボール等を活用して棚を作成し、1歳児、2歳児のクラスに設置した。棚には年齢に応じた玩具が複数置かれ、子どもが自分で見て選び、見立て、ごっこ遊びができるようにした。2歳児のクラスには、牛乳パックを用いてコーナーを作り、ままごと、パズルなど、それぞれの遊びに集中できる場所も作っている。クラス間の玩具貸し借りもおこなわれていた。</p> <p><b>子ども一人ひとりの姿を把握すべく、家庭と園との情報共有に努めている</b>                      家庭と園とで子どもの生活リズムや健康状態、発達の様子などを共有するため、日ごろの情報共有に努めている。送迎時には積極的に保護者に話しかけ、家庭での様子や保護者のニーズなどを聴き取りしている。併せて連絡帳をやり取りし、家庭と園での様子を双方で確認し合っている。長引くコロナ禍で、保護者同士の懇親会などは休止となっているが、年2回の個別面談を実施し、子どもの保育について話し合いをしている。子どもに関する情報は、受入れ簿、保育日誌などに記録され、職員間で共有している。また発達については児童票に取りまとめている。</p> <p><b>特別な配慮が必要な子どもには特にコミュニケーションを大切に接している</b>                      当園のある地域には、外国籍の家庭が多く集まっている。日本語が不得手な子ども・保護者もあり、コミュニケーションには気を配っている。保育士は、簡単な英語を用いたり、ゆっくりとした日本語で話しかけるなど、子どもに伝わるよう工夫している。保護者に対してはスマホの翻訳アプリなどを活用して意思疎通を図っている。これまでは英語プログラムなどもおこなわれていたが、コロナ禍を受けて休止となっており、再開が期待される。保育士は基本的に、どの子どもにも等しく平等に接するよう意識している。</p>			
2	評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている	評点 (●●●●●)	
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当	

●あり ○なし	3. 休息（昼寝を含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目 2 の講評 <span style="float: right;">評価項目 2 の講評を入力してください</span>		
<p><b>0歳児は午睡時にセンサーを取り付け、体の向きをモニターして安全確認している</b></p> <p>0歳児には午睡時、ITセンサーを取り付け、体動状況をタブレット端末でモニターしている。身体の向きはシステムの記録にも残され、午睡チェックシートが自動で作成できる。保育士は5分おきにモニターと子どもの双方をチェックしており、うつ伏せになった際はすぐに仰向けに戻している。1歳～2歳はセンサーを用いてはいるが、保育士が10分おきに見守りし、子どもの様子に応じて対応している。午睡の時間は横になるが、どうしても眠れない子どもは無理に寝かせず、保育士が相手をしている。</p> <p><b>登降園時に保護者と日々の様子を情報共有し、子どもの生活リズムの把握に努めている</b></p> <p>家庭と園とで足並みを揃え、子どもの発達に合わせた保育ができるよう、情報共有に努めている。登降園の際に保護者と保育士とで話をしたり、連絡帳を用いて、子どもの様子を確認し合っている。食事については、家庭、園それぞれでどのような食材、形態のものを食べているか共有し、給食の食形態を移行する判断に活かしている。食事の際は、皆揃って頂きますではなく、個別の意思に沿って食事を始めている。排泄は、保護者の希望を取り入れながらも、子どもの気持ちを尊重し、やる気に沿ってトイレトレーニングをしている。</p> <p><b>デイリープログラムに沿いながらも、子ども個別のリズムに合わせ柔軟な対応をしている</b></p> <p>園で定めた一日のスケジュールはあるが、子ども個々の思いや体調に合わせ、臨機応変な対応に努めている。当園は0歳～2歳まで、各クラス6名程度の小規模な園である。この特徴を活かし、個別に寄り添う保育が実現している。決まり事も比較的ゆるやかで、子どもたちは生活リズムや興味関心に沿って、思い思いに行動出来ている。同じフロアに0歳児～2歳児のクラスがあり、保育士はクラス横断的に子どもの様子を見守りしている。子どもたちが、保育士に見守られながら、個別に自由な活動ができていることが確認できた。</p>		
3	評価項目 3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している <span style="float: right;">評点（●●●●●●）</span>	
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがまじりの大きさに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目 3 の講評 <span style="float: right;">評価項目 3 の講評を入力してください</span>		
<p><b>散歩などの戸外活動を通じ、安全や公共のルールを学ぶ機会を作っている</b></p> <p>当園には園庭が無いので、日々、積極的に戸外遊びに出かけている。地域での散歩を通じ、交通安全や公共のマナーなどを学ぶ機会もつくっており、子どもたちには手を繋ぐように声かけをしている。横断歩道を渡る際は、信号が青になったら渡ることを、保育士が伝えている。公園遊びをでは、一人で公園の外に出ないよう指導している。子どもたちが、散歩を通じて社会性を身に着けていることが確認できた。また散歩については、自治体が配布する自己評価表があり、交通事故防止の目的で危険個所のチェックをおこなっている。</p>		

**コロナ禍で保育士のマスク着用が常態化しているが、言葉の伝達に影響は生じていない**

長引くコロナ禍で、保育士のマスク着用が日常化している。子どもたちは、マスクをしている保育士を見慣れており、違和感などは感じていないとのことだった。口元が見えない状態ではあるが、子どもとの言葉による伝えあい、言葉の取得などに支障は生じていないと捉えている。外国籍の子ども、言葉の発達について課題を持つ子どももいるが、保育士はゆっくりと分かりやすい言葉で話しかけることで、コミュニケーションを図っている。

**集団・個別のさまざまな遊びの機会を作り、子どもの心身の成長を促している**

保育の計画に基づき、子どもの年齢に応じたさまざまな遊びの機会を提供している。2～3人からの集団遊びを企画し、子ども同士で遊ぶ楽しさを伝えている。またコーナー遊びを通じて、一人で遊びに打ち込む場も作っている。保育士による絵本の読み聞かせ、手遊び、歌などで言葉の獲得や子ども同士の会話を促している。室内での体操、戸外遊びを通じて体を鍛えたり、自然に触れる機会も作られていた。子どもたちは保育士が計画するさまざまな遊びの機会を通じ、多くの学びを得ていることが確認できた。

4 評価項目 4

日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している 評点 (●●● )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当

評価項目 4 の講評

評価項目 4 の講評を入力してください

**子どもの現状に合わせ、運動会などの行事を適宜見直しして開催している**

かつては地域の広い場所を借りて、運動会を開催していた。しかしながら園児が0歳～2歳という年齢層であり、馴染みのない広い場所に出向くことで緊張感が増し、プログラムに参加できない子どもも散見された。また新型コロナ流行も受け、今年度は運動会開催を全面的に見直ししている。運動会の保護者参加、参観は中止とし、保育園内で園児と保育士のみで開催することとした。またプログラムも、普段の保育に少しの変化をつける程度としたところ、子どもたちが無理なく参加出来たとのことだった。保護者には写真と動画で様子を伝え、理解を得ている。

**0歳児～2歳児までの園であるが、行事の道具を一緒に作るなどの機会を作っている**

行事開催の準備、実施に当たり、子どもたちも参加して、ともに成し遂げる達成感を味わえるよう工夫をしている。年齢が0歳～2歳であるため、話し合いなどはまだ難しく、できることが限られている。しかしながら行事で使う物品の色を塗ったり、年齢が小さくても扱える手作りの楽器を用いたりするなど、各クラスの保育士が工夫している。合奏、劇など、子どもの発達や興味関心に合わせて、行事の出し物を考えており、ともに楽しんでいる様子が、写真から伝わってきた。

**コロナ禍もあり保護者は行事参加できない状況だが、写真等で様子を伝えている**

長引くコロナ禍を受け、保護者の行事参加は現在、中止となっている。子どもの緊張感、負担感にも配慮し、行事は園内で普段と変わらない雰囲気の中でおこなっている。また法人本部の協力も得て、行事の写真や動画などを撮影している。それらは保護者が閲覧できるようインターネットで配信し、行事の様子や子どもたちの活動を伝えている。保護者には園の行事開催についての方針を説明し、理解を得ている。保護者は子どもが行事で活躍する様子を直接見ることが出来ないが、工夫をしながら伝えている。

5	評価項目 5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点 (●● )
	評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当	
評価項目 5 の講評		評価項目 5 の講評を入力してください	
<p><b>延長保育の利用は現在1名程度であり、見守りのもと自由に過ごしている</b></p> <p>延長保育は18時30分までおこなっている。利用者は1名程度にとどまっている現状であり、延長時間に保育形態が大きく変化することは無い。夕方のおやつ、補食なども提供はしていないとのことだった。延長保育の子どもには、自由にしたいことをして過ごしてもらっている。掃除・洗濯をする職員とともに過ごす、散歩に出かける、園内の行きたい所に行き、好きな玩具で遊ぶなど、長い時間でも退屈せず、楽しく過ごせるよう気を配っている。</p> <p><b>延長保育の利用が増えてきた場合、個別の都合に合わせて柔軟に対応することとしている</b></p> <p>現在、延長保育を利用する子どもは1名程度であるが、今後、それ以上に増えてきた場合は、臨機応変に体制を見直すとのことであった。人数や子どもの年齢、興味関心などに応じて、延長保育中の過ごし方を考える予定である。0歳児の延長保育の場合は夕寝を取り入れたり、1歳～2歳児は、おもちゃで遊んで過ごすことを想定している。延長保育利用が1名の時に比べて、過ごし方の自由度は多少下がると思われるが、子どもが長い保育時間をくつろいで過ごせるよう、体制を整える方針である。</p>			
6	評価項目 6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点 (●●●● )
	評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当	
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 子どもの体調（食物アレルギーを含む）や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当	
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み（食材の栽培や子どもの調理活動等）を行っている	○非該当	
評価項目 6 の講評		評価項目 6 の講評を入力してください	
<p><b>年間食育計画を作成し、子どもたちが食に関心を持てるよう取り組んでいる</b></p> <p>年間食育計画を作成しており、子どもたちが食に関心を持ち、さまざまな体験ができるよう工夫している。計画は年度を4期に分け、期ごとのねらいに沿って、保育士、調理師、家庭とで連携した活動計画が立てられている。今年度は、玄関先にコンテナを置いて、ピーマン作りに取り組んでいる。子どもたちとともにピーマンの苗を植え、成長を見守り、収穫をした。他にも米とぎ、玉ねぎの皮むき、ケーキの飾りつけなど、子どもたちが楽しみながら、食への関心を持てるよう、様々な活動をおこなっている。</p> <p><b>業者委託の献立をもとに、園の調理師が子どもに合わせて調理している</b></p> <p>献立作成や食材の配達には業者委託をしている。業者も、必要に応じて見直しをしている。日々の献立は、園の調理師が離乳食等、子どもの発育に合わせた食形態に調理している。昼食時、調理師も各クラスを回って喫食状況を視認している姿が見られた。誕生日にはその子どもの好みに応じたおやつを作り、提供している。また園のこだわりとして、献立にプラスして必ず果物を出すようにしているとのことだった。郷土食、クリスマスメニューなどの行事食もある。給食便りを作成しており、おやつのレシピなども掲載している。</p>			

**給食委員会があり、子どもの喫食状況や食形態移行のタイミングを随時話し合っている**  
 給食委員会があり、年間食育計画の目標の振り返りや意見交換をしている。また、必要があれば随時の開催もしている。委員会には調理師や保育士が参加しており、子どもの喫食状況、家庭での様子などを共有している。特に離乳食の食形態や次の段階への移行は、委員会でのテーマの一つとなっている。食形態の移行は慎重に話し合われており、1週間の移行期間を経て、判断している。子どもへの負担なく、家庭と足並みを揃えて給食を提供していると思われる。

7	評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している	評点 (●●●)
	評価	標準項目
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている	○非該当
評価項目7の講評		評価項目7の講評を入力してください
<p><b>子どもの健康管理体制をしおりに明示し、病気やケガへの園の対応を伝えている</b>          厚生労働省のガイドラインに基づき、37.5度以上の発熱がある場合や下痢、咳などの症状がある場合は登園しないように伝えている。また保育中に発熱や体調不良が発生した場合は、速やかな迎えを依頼している。薬を飲ませる事は医療行為に当たるため、おこなっていない。しかしながら、ケガ等、ただちに受診が必要な場合は、園と提携する医療機関を受診することもある。一方で、軽微なケガの手当ては園でおこない、かゆみの塗り薬などは預かることもある。園でできること・できないことが、園のしおりに分かりやすく明示されている。</p> <p><b>嘱託医、法人の看護師や区の保健師などと連携し、子どもの健康管理に努めている</b>          園の嘱託医がおり、年4回、健康診断をおこなっている。必要があれば、園から嘱託医に指示を仰ぐこともある。園での感染症発生時は、嘱託医や行政とも情報共有している。当園に看護師はいないが、法人の系列園にいる看護師が年間の保健指導計画を作成している。当園ではこれを園の状況に合わせてアレンジし、活用している。月1回、保護者向けに保健便りを発行し、子どもの健康に関する啓発を行っている。他にも、区の保健師の巡回指導の日があり、保育士らが心配な子どもについて、健康相談できる機会がある。</p> <p><b>手洗いの指導、鼻水のコマメなふき取りなど、感染症対策に力を入れている</b>          感染症対策のため、さまざまな取り組みをしている。遊びや活動などをする度に、場所や物品の消毒をしている。また、手洗いを奨励しており、各クラスの保育士が指導している。鼻水もこまめに拭き取り、感染症蔓延防止に努めている。伝染性感染症の疑いが生じた際は、登園中止となり、医師の指示を仰ぐよう保護者に依頼している。受診結果は家庭と共有し、病名に応じて登園許可書、登園届などの必要書類を提出するしくみがある。</p>		

8	評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている	評点 (●●●●●)
	評価	標準項目
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当

**手ぶら登降園のサービスがあり、保護者の負担軽減に寄与している**

保護者の持ち物の軽減、家庭での負担減などを目的に、手ぶらで登降園できるサービスをおこなっている。保護者は登園の際、紙オムツや着替え、タオルやエプロン、各種の持ち物を持参する必要がある。手ぶら登園では、これらの持ち物の一部を園が用意し、子どもに貸し出しをしている。手ぶら登園で貸し出される着替えの衣類は、保育士が季節等に併せて用意しており、業者がクリーニングしている。子どもたちが、様々な衣類の中から好みのものを選び、楽しく着替えている様子が見られた。子どもは楽しく、保護者には便利なサービスとなっている。

**送迎時の会話、年 2 回の個人面談などを通じ、保護者との意見交換に努めている**

子ども個々の発育や生活リズムに沿った保育をおこなうため、家庭とはこまめな情報共有に努めている。日々の送迎時、連絡帳などで、食事・排泄・睡眠や健康状態など、必要な情報を共有している。また年 2 回、個人面談の機会があり、個別の保育計画について保護者と意見交換している。子育ての悩み事などは、随時に受け付ける体制がある。長引くコロナ禍のため、保護者懇談会、保育参観などは休止が続いているが、写真や動画の配信、各種のおたよりなどを通じて、園での様子を保護者に伝えるよう努めている。

**外国籍の親子も多い地域であり、コミュニケーションの取り方について工夫を重ねている**

園のある地域は、外国籍の家庭が多い地域となっている。アジア系、アフリカ系など、さまざまな国からきた保護者があり、コミュニケーションは課題の一つとなっている。家族に日本語のわかる人がいれば、その人を介したり、簡単な英語で話をするなどの工夫をしている。またスマホの翻訳アプリの利用も始めており、今後はコミュニケーションツールとして更に活かしていきたいと考えている。引き続き、外国籍の保護者と意思疎通を図るため、取り組みを検討していくことが期待される。

9

評価項目 9

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点 ( ●● )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当

**地域資源を活用し、いろいろな体験や交流の機会を設けることが望まれる**

コロナ禍であり地域資源を活用した体験や交流は不十分な状況となっている。現在は散歩で公園に出かけ、遊んでいる親子に声掛けするぐらいとなっている。過去には児童館や図書館を利用していた。感染対策をしながら地域に出向いたり、地域資源の活用を考え、交流や体験の機会を設けることが望まれる。

**行事などへの参加や地域住民との交流が期待される**

コロナ禍のこともあり、地域の行事等に参加することはできていない。コロナ禍前には近隣の小学校に協力してもらい、他の保育園や幼稚園と合同で水害を想定した避難訓練を実施し、保護者にも協力してもらい避難場所を確認するなどしていた。職員にも良い経験となっており、また避難訓練が実施できないか検討している。園の近くには商店街もあり、お祭りやイベントに参加する機会や、高齢者施設との交流も検討しており、取り組みが期待される。

## 〔事業者が特に力を入れている取り組み：小規模保育事業〕

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-6	子供が楽しく安心して食べることができる食事を提供している
タイトル①	年間食育計画に基づき、子どもが食への関心を持てるよう様々な取り組みをしている	
内容①	年間食育計画が作成されており、各期ごとにねらいや取り組み、評価などがまとめられている。給食委員会は定期的・随時に開催されており、子ども個々の発育に沿った離乳食の提供に努めている。子どもが楽しく食に関心を持てるよう、コンテナでの野菜栽培、収穫、調理などを保育士と子どもとでおこなっている。収穫した野菜を子どもとともに調理したり、米を研ぐ、ケーキの飾りつけをするなど、調理体験もさまざま企画されている。保育士と調理師が連携し、食を通じて子どもの発育を促す様々な取り組みが確認できた。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル②	手ぶらで登降園のサービスがあり、保護者負担軽減と子どもの自立促進に寄与している	
内容②	保護者は登降園の際、子どもの紙おむつや着替え、タオルほか、多くの持ち物を持参することになっている。汚れ物は日々引き取り、家庭で洗濯して再び持参する。週末は昼寝用パッドやタオルケットの持ち帰りもある。これらの負担を軽減するため、園では手ぶらで登園できるサービスを提供している。園で着替えを貸し出し、保護者の荷物を減らす取り組みである。クリーニングは業者に出している。様々な色・柄の衣類が用意され、子どもは好きな服を選び、組み合わせている。保護者の負担軽減、子どもの自立に繋がる、良いサービスとなっている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-2	子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている
タイトル③	0歳児の午睡ではICセンサーを活用し、乳幼児突然死症候群の防止に努めている	
内容③	当園では、0歳児の午睡の際、保育士による5分おきの見守りに加え、ICセンサーを活用して安全を強化している。午睡の際、子どもに小さなパッドを取りつけ、体の向きや体動の停止などをタブレット端末でモニターする仕組みである。うつ伏せの状態になったら、すぐにアラートが鳴り、速やかに対応することができる。午睡チェックシートも当該システムで自動的に作成される。ICを活用することにより、0歳児がより安全・安心に午睡し、乳幼児突然死症候群（SIDS）を防止することが実現している。	

〔全体の評価講評：小規模保育事業〕

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもの発達に合わせ、遊びが豊かに展開されるよう工夫をしている
	内容	園庭はないが、雨天以外は公園などを利用して戸外活動をし、季節の移り変わりを感じられるようにしている。1, 2歳児は、戸外では集団で遊ぶ楽しさを経験できるようにしたり、室内ではコーナーごとに自主的に遊びこめるよう工夫をしている。保育者は見立て遊びやごっこ遊びなどを援助したり、手遊びの唄を歌ったりして表現を楽しめるようにしている。評価者の訪問時もひとりで粘土遊びを楽しんだり、歌いながら手遊びで子どもの名前を呼んでいる保育場面が見られた。さまざまな活動で、子どもの遊びが豊かに展開されるよう工夫をしている。
2	タイトル	保護者と積極的にコミュニケーションし、情報の共有・信頼関係構築に努めている
	内容	長引くコロナ禍で、保護者の行事参加、保育参観、懇談会などは休止の状況が続いている。これを受けて、園では保護者との情報共有、信頼関係構築のため、積極的にコミュニケーションを取るよう、心がけている。日々の送迎、連絡帳のやり取りを通じ、子どもの家庭状況を把握したり、保護者の子育て相談に応じている。また年2回、個人面談の機会を作り、園と家庭とで連携した子どもの保育に努めている。行事や遊びの状況は、写真・動画をネットで配信したり、園だよりを通じて保護者に伝えるなど、さまざまな工夫が見て取れた。
3	タイトル	記録は丁寧に残しており、職員間で共有して保育にあたっている
	内容	日々の子どもの様子は週案日誌に記録して職員間で共有している。担任はその月の特記事項を週案・日誌より抜粋して児童票に記入している。ケガなどがあった場合は園日誌に記録し、保護者からの情報や保護者に伝えることは、連絡帳や受け入れ簿で確認して職員間で共有している。子どもや保護者に関する事は丁寧に記録し、職員間で共有しながら保育にあたっている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	事業計画を策定し、園の重点課題に取り組むことが期待される
	内容	全体的な計画が策定され、保育内容や食育、研修計画、安全対策・事故防止などを盛り込んでいる。園としての基本方針や重点目標、園の運営や保育内容等、単年度に取り組むべき事を事業計画としてまとめ、職員と共通理解を図るとともに、推進体制を組み合わせながら取り組むことが望まれる。

2	タイトル	地域交流や地域支援に取り組むことが望まれる
	内容	地域との交流もコロナ禍でままならない状況である。以前は児童館や図書館を利用していた事もある。現在は散歩の際に公園にいる親子との交流などにとどまっている。地域貢献にも取り組みたいとしており、一時保育の受け入れや青空保育などの構想がある。制約はあると思うが、工夫をしながら地域住民との交流や地域の子育て世帯への支援に期待したい。
3	タイトル	深刻な災害に備え、事業継続計画（BCP）の策定が望まれる
	内容	危機管理マニュアルが整備されており、リスクに対する対策を明確にしている。避難訓練はさまざまな場面を想定して毎月実施し、不審者対応や引き渡しの訓練などもおこなっている。保護者には災害時の連絡方法について入園時に伝え、備蓄品も順次揃えている。なお、深刻な自然災害や新型コロナウイルス感染症の再拡大に備え、本部と連携して事業継続計画を策定する事が望まれる。